

平成28年度 第1回苫小牧市男女平等参画審議会会議録（概要）

- 1 日 時 平成28年6月7日（火）13：30～15：00
- 2 場 所 市民活動センター4階 講習室A
- 3 出席者 審議会委員 9名（欠席者 1名）
市民生活部（次長、男女平等参画課長、課長補佐、主査、主事、嘱託事務員 計6名）
- 4 傍聴人 なし
- 5 記 者 北海道新聞、苫小牧民報社、室蘭民報社
- 6 議事概要

（議題1） 平成27年度苫小牧市男女平等参画基本計画（第2次）施策別実施状況について

主な質疑

<質 問>

たくさんの施策があり、自己評価を見るとAやBで達成または概ね達成しているとなっているが、評価には基本があるのか。

<回 答>

それぞれの担当部署が計画した事業に対して、どのくらい遂行できたかを担当課が自己評価し、大項目ごとに事務局として評価している。

<質 問>

学校教育の推進について、道徳の授業で活用している冊子は、小学生、中学生とも教材は同じものか。

<回 答>

文部科学省で作成した冊子「新しいほけん」を小学校3～4年に、「新しい保健」を小学校5～6年に、それから「私たちの道徳」を中学校にと、学年ごとに活用している。

<質 問>

男女平等参画を学ぶには、文部省で作った道徳の本では内容が硬くなり分かりづらいように思う。都市宣言に沿った苫小牧らしい独自の本を作るなど、もう少し理解しやすい内容にできないものか。こういう本で授業を行っていてA評価としていることに疑問を感じる。

<回 答>

計画に沿って各小中学校で授業の取組みが行われたことにA評価とした。分かりやすく伝えるための副読本のようなものを作るというのは、このあとの事になる。事業

の自己評価は、施策の実施状況に対する評価とご理解いただきたい。

<質 問>

男女平等参画社会を目指すには、教育の充実は非常に大事になってくる。このように抽象的な内容では意識は向上しないと思う。実施するからには本気で実効性のあるものでなければ意味が無いのではないか。

<回 答>

今年度、若年層を対象にした男女平等参画の意識調査を実施するので、その結果を踏まえた上でどのように進めていくか教育担当部署とも協議していきたい。

<質 問>

施策別実施状況というのは、行動に対する評価だと思うが、実施後の成果に対する評価も行っているのか。

<回 答>

それぞれの事業の実施により、男女平等参画がどこまで浸透したかという評価については、市民意識調査などを通して図っていくことになる。

意 見

デートDVの低年齢化など内容の実例も深刻なものが増えており、学校でも問題意識を持っている。小学校から高校それぞれの学年にあったもので教育をおこない、若年層の子どもたちへ男女平等の意識を浸透させることが大切だと思う。

また、若い世代だけではなく、中高年齢の層にも定年退職後にDVについての夫婦間の問題に心を病む人が多い。市が企業に働きかけ、定年後の男女平等の意識付けを広めて欲しい。

意 見

小学生にはまだまだ人権の意識も薄いので、教育現場だけではなく周りのみんなが働きかけて男女平等を推進していくことが課題だと思う。

(議題2) 平成27年度男女平等参画に関する市民意識調査実施状況について

主な質疑

<質 問>

このような調査は、以前にも実施したことがあるのか。

<回 答>

平成19年に作成した計画で実施し、平成23年度にも実施している。それぞれの時代に合わせて質問を設定しているが、固定的役割分担意識についての質問は継続している。

<質 問>

過去の調査と比較したもので、評価付けが出来ると思うので楽しみにしている。
アンケート結果は速報値だが、担当者から見て10年計画の中でこれは意外だったという結果はあるか。

<回 答>

国のほうでも同様のアンケートを実施しており、そちらの結果と見比べても、意外というより、男女平等参画の意識付けは、まだまだ進んでいないという実態が明らかになったと思う。

<質 問>

クロス集計は、すべての設問で示していただけるのか。

<回 答>

今回の結果報告は、あくまでも速報版ということなので、クロス集計、前回アンケートとの比較といった結果は、完成版として次回の審議会でお示しできると思う。

<質 問>

アンケートのグラフ等を見ていて思ったのだが、男女平等の達成ラインとはどこになるのか。市として目標値のような割合をもっているのか。そういう展望があれば教えて欲しい。

<回 答>

現時点では、どこまでで達成という数値的な目標は定めていないが、そういうものがあれば分かりやすいと思うので、次期計画については、そうしたものを一つでも増やせるようにしたいと考えている。男女平等参画についての考え方は、人それぞれなので、皆さんの意見も伺いたいと思う。

意 見

アンケート結果の中で、若年層への教育、子育て環境の整備、行政・企業・市民との連携という項目で数値が高い事に、市民の意識が高いことが伺えてよかったと思う。お互いを理解しあう思いやりの気持ちから、男女平等の意識も進むのだと思う。

(議題3) 苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)策定のスケジュール(案)について

主な質疑

<質 問>

計画は行政だけで立てるのか。あらためて協議するような会を設けるのか。

<回 答>

市全体の施策の中で、男女平等参画に関してはどういうことを盛り込めるのかとい

うことをこの審議会で審議していただきたい。

<質 問>

計画のたたき台を行政が作るということか。市民の声を聞かずに出来るのか。反省も無く行政だけで作ったものでは意味が無い。男女共同参画プラン21を作った時のように皆で一から考えていかなければ、作っていく過程が見えてこない。

第3次計画はこれまでの積み重ねとして、より重要なものになるので、市民参加で作っていかねばならないと思う。行政が作ったものを審議会で審議してほしいというのは無理があるように思う。

<回 答>

昨年企業に対する意識調査をしており、この結果も次期計画の策定に役立てていく。国や道にも同様の計画があるのでそちらも参考にしながら、2次計画を柱により良いものになるよう3次計画を進めていきたい。

意 見

今回のABCの評価を見直しながら、国の計画とかではなく苦小牧らしい計画を立てて欲しい。施策の自己評価だけではなく、市民の声が届くような形で進めることを考えてもらいたい。

(議題4) その他

主な質疑

<質 問>

フェイスブックは、どこで作成しているのか。

<回 答>

市のホームページにリンクしているものを使っている。今後は、日本女性会議2017とまこまいのホームページを立ち上げるので、皆さんで拡散していただきたい。

意 見

日本女性会議のチラシが出来たということによかったと思う。

いろいろな場で、苦小牧の大会を宣伝する機会があるが、チラシがあると説明しやすい。あらためて大会ロゴの意味を確認し、日本女性会議にぴったりだと思った。

意 見

日本女性会議には、企画部会員として参加している。行政は期日までに収めることを大切にしていると思うが、市民が参加して作るというプロセスを大事にして欲しい。

意見

自分の中では、男女平等参画はまだまだ発展途上だと見ているが、市外からは苦小牧はすごいねと褒められることが多い。